

令和元年度自転車関連実施事業

通勤

施策1 通勤時の自転車利用への転換促進

過度な自家用車利用への依存や朝夕の渋滞等の解消のため、通勤手段を自家用車から自転車へ転換することを促す取組みを進める

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					令和元年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通勤	通行空間	通勤目的の自転車ネットワーク路線の整備	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線において、静岡県側の整備済み箇所より西側へ整備工事を実施(L=0.69km) 【市道】牛川通・飯村町1号線ほか2路線において整備工事を実施(L=3.9km)	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県(東三河建設事務所道路整備課) 豊橋市(道路建設課)
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備	行政交通事業者	○	○	自転車等駐車場管理運営事業	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を行った。	定期更新機の導入や二川駅南口自転車等駐車場の一部窓口受付時間の延長など提案事業が実施され、より利用しやすい環境が整えられた。	豊橋市(土木管理課)指定管理者(蔦井株)
						放置自転車対策	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。 ②豊橋市内5ヶ所の無料駐輪場(城海津跨線橋北、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線)の維持管理を行った。	重点地域を絞り、夜間啓発活動を実施したことにより、当該地域での放置自転車が減少した。 無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように整理できた。	豊橋市(土木管理課)指定管理者(蔦井株) 指定管理者(株)東海ビルメンテナンス 委託業者((公社)豊橋市シルバー人材センター)
							自社(豊橋鉄道株)管理駐輪場への放置自転車の撤去を実施する。	撤去したスペースは新規利用者が使用することで自転車利用の促進を図った。また撤去自転車に関してはリサイクルと地域安全の向上に寄与した。	豊橋鉄道株
						サイクル&ライド駐輪場整備	渥美線南栄駅の駐輪場を再整備し、駐輪台数を増やし、サイクル&ライドを推進した。 渥美線愛知大学前駅に駐輪場を整備し、サイクル&ライドを推進した。	駐輪台数50台分を増やし、さらなる自転車利用の推進が図られた。 今まで駐輪場のなかった愛知大学前駅に駐輪可能台数126台分の整備を行い、自転車利用の推進が図られた。	豊橋鉄道株 豊橋市(都市交通課) 豊橋市(都市交通課) 豊橋鉄道株
	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施	行政企業	○	○	とよはしエコ通勤実践運動	県境地域通勤環境改善推進協議会の参画事業所を対象に自転車交通のルール、自転車保険などを伝える講習会を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響を考慮し中止した。		
	意識啓発	企業向け自転車通勤促進セミナーの開催	行政企業	○	○	とよはしエコ通勤実践運動	通勤時間帯における渋滞が激しい県境地域にある事業所(自家用車で通勤する人)を対象に、豊橋市役所で実施している「とよはしエコ通勤運動」のような、通勤手段を自家用車から公共交通機関等へ自発的な転換を促した。	モビリティ・マネジメント(MM)に関するニューズレターを配布し、従業員へ自転車通勤等を促すための意識啓発が図られた。	豊橋市(都市交通課)

通勤	意識啓発	健康増進のための自転車活用推進	行政企業	○	○	とよはし健康マガジンの発行	とよはし健康宣言事業所向けに配布している「健康マガジン」の中に自転車の利用促進について掲載し、自転車通勤への転換を促した。(年3回)	健康マガジンを通じて、自転車活用のメリット等について啓発することができた。	豊橋商工会議所 協会けんぽ愛知支部 豊橋市(健康政策課) 豊橋市(都市交通課)
						とよはし健康宣言事業所認定制度	健康経営に取り組む企業を認定する「とよはし健康宣言事業所」の認定要件である「応援事業」の一つに、「エコ通勤」を入れ、公共交通や徒歩・自転車での通勤を推進し、従業員の運動機会促進を図った。	応援事業に自転車活用(エコ通勤)を組み込むことにより、市内企業へ自転車通勤のメリットを周知することができた。	豊橋商工会議所 協会けんぽ愛知支部 豊橋市(健康政策課)
		サイクル&ライドの推進	行政企業 交通事業者	○	○	公共交通マップの作成	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を示した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐輪場の位置を周知することができ、自転車利用の推進が図れた。	豊橋市(都市交通課)
	支援・補助	企業における自転車通勤環境の改善	行政企業	○	○	電動アシスト自転車購入補助	地球温暖化対策の推進に寄与することを目的として、電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。	700台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制が図られた。	豊橋市(温暖化対策推進室(R1)) 市内の自転車販売店
						環境マネジメントシステム推進事業 (豊橋市職員対象)	豊橋市エコアクションプラン(第5次)の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)を活用しており、エコ通勤の実施日数を平成30年度比で増加するという目標を掲げている。豊橋市役所職員の研修等を通して、エコ通勤(自転車や公共交通機関などによる通勤)を推進した。	平成30年度比0.1%の微減であった。	豊橋市(温暖化対策推進室(R1)) 豊橋市役所の職員、嘱託員、再任用職員、臨時職員
						とよはしエコ通勤運動 (豊橋市職員対象)	通勤距離区分が2km以上15km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算の実施を継続した。	自転車通勤の継続が図られた。	豊橋市(人事課)
						自転車損害賠償保険を包括する保険の団体扱いの開始	職員向けの団体扱いの保険加入。団体扱いの生命保険と同様に給与から控除できるようにした。	自転車通勤を検討する判断材料になるほか、損害賠償保険加入義務付け後においても引き続き自転車通勤の継続が図られた。	豊橋市(人事課)
						ヘルメット購入奨励事業 (豊橋市職員対象)	自転車乗車用ヘルメットを購入した職員に対し1,000円分のクオカードを進呈した。	自転車通勤を検討する判断材料になるほか、ヘルメット着用義務付け後においても引き続き自転車通勤の継続が図られた。	豊橋市(人事課、職員互助会)

通 学

施策2 通学時の自転車利用者の安全確保

通学時の自転車利用時の事故減少のため、自転車利用のルール、マナーに関する教育を引き続き実施

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					令和元年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通学	通行空間	通学ルートにおける危険箇所の解消	行政警察	○	○	交通安全対策事業の実施	交差点等の危険箇所について対策工事を行った。(小松町ほか)	安全性の向上が図られた。	豊橋市(道路維持課)
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備(再掲)	行政交通事業者	○	○	自転車等駐車場管理運営事業(再掲)	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を行った。	定期更新機の導入や二川駅南口自転車等駐車場の一部窓口受付時間の延長など提案事業が実施され、より利用しやすい環境が整えられた。	豊橋市(土木管理課)指定管理者(髙井㈱)
						放置自転車対策(再掲)	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。 ②豊橋市内5ヶ所の無料駐輪場(城海津跨線橋北、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線)の維持管理を行った。	重点地域を絞り、夜間啓発活動を実施したことにより、当該地域での放置自転車が減少した。 無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように整理できた。	豊橋市(土木管理課)指定管理者(髙井㈱)指定管理者(㈱東海ビルメンテナンス)委託業者((公社)豊橋市シルバー人材センター)
							自社(豊橋鉄道㈱)管理駐輪場への放置自転車の撤去を実施した。	自社管理駐輪場への放置自転車を撤去することにより新規利用者を獲得し、また撤去自転車に関してはリサイクルと地域安全の向上に寄与した。	豊橋鉄道㈱
	安全教育	自転車免許制度等の新たな安全教育手法の導入	行政警察学校	○	○	交通安全教室の実施	幼児から高齢者の各世代を対象に、交通安全教育指導者・指導員による交通安全教室を実施した。幼児 98回 8,498人、小学校 139回 11,068人、中学校 15回 3,435人、高等学校等 10回 3,541人、高齢者 22回 898人、一般 69回 4,147人(スタントマンによる交通事故再現教室(スケアード・ストレート)の開催(高豊中学校、石巻中学校、桜丘高等学校、豊橋工業高等学校)4回 1,547人) 合計 353回 31,587人	各世代に応じた指導を行うことで、受講者は交通ルールを学ぶとともに交通安全意識の高揚が図られた。	豊橋市(安全生活課)豊橋警察署・スタントマンによる交通事故再現教室委託業者((有)シャドウ・スタント)、各学校
						100日間自転車無事故無違反ラリー	豊橋市内の中学校・高校による100日自転車無事故・無違反ラリーを実施し、達成した学校は表彰する等自転車の交通安全意識の向上と、交通事故防止を目的とする。 参加高校11校、中学校23校	自転車利用の生徒への自転車通学者の法令順守と交通マナーの向上が図られた。	豊橋警察署
						高校生プロジェクトの実施	自転車事故の多い高校生が自転車の安全利用について考える高校生プロジェクトを実施した。	市内の高校2校にてプロジェクトを実施し、安全利用の推進が図られた。	豊橋市(安全生活課)桜丘高等学校豊橋工業高等学校
	意識啓発	自転車利用のメリットの教育	行政学校	○	○	—————	—————	—————	—————

	意識啓発	サイクル&ライドの 推進（再掲）	行政 企業 交通事業者	○	○	公共交通マップの作成（再 掲）	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内 の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中に サイクル&ライドが可能な駐輪場を標記した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐 輪場の位置を周知することができ、自 転車利用の推進が図れた。	豊橋市（都市交通課）
--	------	---------------------	-------------------	---	---	--------------------	---	---	------------

買物

施策3 買物時の自転車利用環境の向上
誰もが安心して買物ができるようにするため、通行や駐輪のための環境を整備

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					令和元年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
買物	通行空間	買物目的の自転車通行空間の整備	行政警察		○	自転車通行空間の整備（再掲）	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線において、静岡県側の整備済み箇所より西側へ整備工事を実施（L=0.69km） 【市道】牛川通・飯村町1号線ほか2路線において整備工事を実施（L=3.9km）	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県（東三河建設事務所道路整備課） 豊橋市（道路建設課）
	駐輪	まちなかにおける駐輪環境の向上	行政企業民間団体	○	○	自転車等駐車場管理運営事業（再掲）	豊橋市自転車等駐車場（豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口）の管理・運営を行った。	定期更新機の導入や二川駅南口自転車等駐車場の一部窓口受付時間の延長など提案事業が実施され、より利用しやすい環境が整えられた。	豊橋市（土木管理課） 指定管理者（蔦井株）
						放置自転車対策（再掲）	①駅周辺の自転車放置規制区域を中心に放置自転車を防止するための指導・啓発活動を行った。 ②豊橋市内5ヶ所の無料駐輪場（城海津跨線橋北、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線上）の維持管理を行った。	重点地域を絞り、夜間啓発活動を実施したことにより、当該地域での放置自転車が減少した。 無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように整理できた。	豊橋市（土木管理課） 指定管理者（蔦井株） 指定管理者（株東海ビルメンテナンス） 委託業者（(公社)豊橋市シルバー人材センター）
	安全教育	自転車の貸付及び補助と併せた安全教育実施	行政	○	○	自転車安全利用の教育	三人乗り自転車を貸出しする際に、自転車安全利用の講習をうけてもらい、交通安全を呼び掛けた。	自転車安全利用の啓発を図ることができた。	豊橋市（保育課） 豊橋市（安全生活課）
	支援・補助	自転車普及のための貸付及び購入補助	行政	○	○	電動アシスト自転車購入補助（再掲）	地球温暖化対策の推進に寄与することを目的として、電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進した。	700台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制が図られた。	豊橋市（温暖化対策推進室（R1）） 市内の自転車販売店
						高齢者運転免許自主返納 電動アシスト自転車購入補助	高齢運転者による自動車の交通事故防止と日常生活の移動手段の確保のために、運転免許を自主返納した方を対象として電動アシスト自転車の購入補助を行った。	23台の購入補助を実施し、運転免許返納した高齢者への移動手段の確保が図られた。（令和元年11月1日より受付開始）	豊橋市（安全生活課） 市内の自転車販売店
						三人乗り自転車貸出事業	子育て家庭の支援の一環として、満1歳以上4歳未満及び満2歳以上6歳未満の子を2人以上養育しており、豊橋市内に居住している家庭を対象に、三人乗り自転車（電動アシスト）の貸出を実施した。	貸出を希望する保護者に対して、延べ82台を貸し出し、子育て家庭の日常生活における親子での移動手段として自転車の活用を促すことができた。	豊橋市（保育課）
						自転車ヘルメット購入補助事業	市内在住者及び市内在学者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することでヘルメット着用を促した。 補助金利用件数 1,523件	ヘルメット着用の促進になった。	豊橋市（安全生活課） 事業協力店

共通

その他の実施施策

複数の目的に共通する取り組みや、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取り組み等

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け						令和元年度に実施した事業			
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
共通	通行空間	自転車ネットワークの構築	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備（再掲）	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線において、静岡県側の整備済み箇所より西側へ整備工事を実施（L=0.69km） 【市道】牛川通・飯村町1号線ほか2路線において整備工事を実施（L=3.9km）	自転車と歩行者、自転車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進した。	愛知県（東三河建設事務所道路整備課） 豊橋市（道路建設課）
	利用環境	自転車利用環境向上のためのスポットづくり	行政企業民間団体		○	サイクルピット整備事業	自転車利用者の誘客による地域振興や観光振興を図るため、自転車利用者がサイクリング中に気軽に立ち寄り、休憩や自転車の簡易なメンテナンスを行うことができる「サイクルピット」を市内各所に設置し、自転車を快適に利用できる環境を整備した。	大清水駅やコンビニといった市内10か所に設置し、休憩スポットとして自転車利用を促進した。	豊橋市（都市交通課） 豊橋鉄道 セブンイレブン ファミリーマート
						道の駅とよはしレンタサイクル事業	E-BIKEのレンタル、道の駅周辺のサイクルマップを作製した。	来訪者にE-BIKEの周知、道の駅周辺の観光資源の魅力を発信することができた。	豊橋市（観光振興課）
	安全教育	対象・課題に応じた安全教育の実施	行政警察学校企業民間団体	○	○	交通児童館事業	自転車乗り方教室などの行事を開催するとともに、遊びを取り入れながら交通ルールを学ぶ教室を開催し、児童の健全育成を図った。	交通ルールを学ぶ機会を提供し、児童の健全育成が図られた。	豊橋市（こども未来館） 指定管理者
						交通安全教室の実施（再掲）	幼児から高齢者の各世代を対象に、交通安全教育指導者・指導員による交通安全教室を実施した。幼児 98回 8,498人、小学校 139回 11,068人、中学校 15回 3,435人、高等学校等 10回 3,541人、高齢者 22回 898人、一般 69回 4,147人（スタントマンによる交通事故再現教室（スケアード・ストレート）の開催（高豊中学校、石巻中学校、桜丘高等学校、豊橋工業高等学校）4回 1,547人） 合計 353回 31,587人	各世代に応じた指導を行うことで、受講者は交通ルールを学ぶとともに交通安全意識の高揚が図られた。	豊橋市（安全生活課） 豊橋警察署 ・スタントマンによる交通事故再現教室 委託業者（（有）シャドウ・スタント）、各学校
						自転車安全・快適利用啓発事業	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」ステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴えた。	自転車の安全・快適性の向上だけでなく、路線バス運行上の安全確保にもつながった。	豊鉄バス
	意識啓発	自転車保険のPR	行政警察学校	○	○	自転車保険の加入促進	市ホームページや広報とよはし等による情報発信や、市内小中高大学生へのチラシの配布により、平成31年4月1日に施行した豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例に基づき、自転車損害賠償保険等への加入の周知を図った。	自転車保険の周知と加入促進が図られた。	豊橋市（安全生活課）

共通	意識啓発	自転車マップ等の作成	行政 学校 企業 民間団体		○	サイクリングコースマップの作成	道の駅と中心とした「道の駅とよはし発！観光サイクリングマップ」や周辺他市との連携を考慮した市内全域のサイクリングマップ「はしってみ輪とよはし」の作成を行った。	2種類のサイクリングマップを作成し、自転車利用の促進を図った。	豊橋市（都市交通課）	
		利用目的に応じたメッセージの周知	行政 学校 企業 民間団体	○	○	カーフリーデー・モビリティウィーク	都市交通を切り口とした都市環境の改善や賑わいのあるまちづくりを目的とし、自転車や公共交通、徒歩を用いたイベントを行うことによって、「かしこい車の使い方」を市民と行政と一緒に考える取組を行った。	イベントを通じて「かしこい車の使い方」を周知することができた。イベントでは競輪選手を招きサイクルタイムトライアルの実施や、自転車魅力発見トークショーなどを行い、自転車の利用促進をPRした。	豊橋市（都市交通課）	
		自転車条例の周知	行政				豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の周知	市ホームページや広報とよはし等による情報発信や、市内小中学校大学生へのチラシの配布により、平成31年4月1日に施行した豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の周知を図った。	各種取組により、条例について広く市民に伝えた。	豊橋市（安全生活課）
		サイクルトレインの推進	行政 民間団体			○	サイクルトレイン（渥美線社内自転車お持込サービス）	特定日を除いた土休日及び平日（10:00～14:59発）に限り、1台当たり100円の料金を渥美線車内の指定エリアに自転車をそのまま持ち込むことができる。	新規需要の開拓等利用者の拡大を図ると共に、自転車利用者の利便性向上が図られた。	豊橋鉄道㈱
	太平洋岸自転車道整備の推進	行政				太平洋岸自転車道整備	太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート指定に向け、走行環境（路面表示・案内看板）を整備した。	矢羽根型路面表示と案内看板を設置し、サイクリング環境の向上が図られた。	愛知県（東三河建設事務所道路整備課）	
		行政				道の駅間連携案内整備	サイクリングの拠点となる豊橋・田原・湖西の道の駅間を案内する路面標示を行い、周辺地域と連携したサイクリング環境を整備した。	道の駅間の距離等を示した路面標示を設置し、サイクリング環境の向上が図られた。	豊橋市（道路建設課）	
	レジャー	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	市民スポーツ祭'2019【自転車】 兼 令和元年度豊橋自転車競技大会	市民スポーツ祭においては、市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアルを行う。小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらう。 また、豊橋自転車競技大会は、昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図っている。競技種目により豊橋市長賞、市議会議員賞、体育協会理事長賞が贈られている。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	豊橋自転車競技協会、 豊橋市、 （公財）豊橋市体育協会、 愛知県自転車競技連盟 （財）日本自転車競技会中日本地区、 （社）日本競輪選手会愛知支部	
						とよはしサイクルマラソン	この大会はレースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会である。豊橋競輪場をスタートし東栄町を往復する約122kmのコース。途中千枚田や廃校になった神田小学校に立ち寄り、紅葉も楽しめる。 平成30年度までのとよはしとよねサイクルマラソンの終了に代わり新たに企画した。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	豊橋自転車競技協会、 東栄町、新城市 （公財）豊橋市体育協会	

共通	レジャー	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	第16回豊橋万場クリテリウムロードレース大会	愛知県自転車競技大会の10周年を記念し第1回が企画され16年目を迎える。万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催している。クリテリウムとは一般交通から遮断された周回コースである。種目は4時間エンデューロと個人ロードレース、チームタイムトライアルがありそれぞれに部門が分かれている。未就学児から実業団選手まで幅広い年代が自転車競技を楽しめる大会である。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市教育委員会、(公財)豊橋市体育協会、独立行政法人水資源機構
						第37回とよはし・チーム・ピスト	高校・大学の自転車競技部を除く町のレーシングチームを対象に、スプリント、ケイリン、速度競走、エリミネーション等のトラック競技を行いチームでの総合得点を競い合う。アマチュアのトラック競技の大会が少なく遠方からの参加者も多い。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資するとともに自転車を楽しむ機会を増やした。	豊橋自転車競技協会、(公財)豊橋市体育協会、愛知県自転車競技連盟、(社)日本競輪選手会愛知支部
						第7回ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバルの開催	2月23日豊橋総合動植物公園の一部にランバイク会場を設営し、キッズを対象としたランバイクレースを開催。当日の参加者は137名で昨年を上回った。 3月1日道の駅とよはしを拠点に「春のスローガイドツアー」を開催。二川宿コース・浜名湖畔コース・渥美半島コースがあり、当日の参加者は27名でほぼ定員を満たすことができた。	ランバイクレースでは、県外からの参加者もいるなど好評であり、子供たちに自転車に親しむ行事となった。ガイドツアーについても、豊橋の歴史やサイクルトレインのPRもでき、アンケートの結果概ね好評であった。	(一社)豊橋観光コンベンション協会、豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋市総合動植物公園、(公財)豊橋みどりの協会、豊橋市体育協会、日本トーター(株)、アンドエス
						「環境フェスタ」での自転車の提供	大きなごみとして排出された自転車について、職員による整備のうえ、抽選による無償提供を行う。	リサイクル意識の啓発と自転車の利用促進を図った。	豊橋市(収集業務課)530 運動環境協議会
						競輪開催事業	自転車競技法に基づき、普通競輪11開催53日、特別競輪1開催4日の年間12開催57日を行った。	豊橋競輪場開場70年目にして初のGI開催を行い、収益向上を図った。その結果、一般会計へ4億円繰出するとともに、自転車振興に寄与することが出来た。	豊橋市(競輪事務所)(公財)JKA、(一社)日本競輪選手会、(公財)全国競輪施行者協議会、日本トーター(株)
						バンクにおいでDAY	豊橋競輪場において、バンク走行体験、バンクウォーク、キックバイク体験、サイクルスピリッツ、地元競輪選手による模擬レース、けいりんマルシェ等を行った。	イベント参加人数は2,959名で、自転車に親しむきっかけとすることができた。	豊橋市(競輪事務所)日本トーター(株)、(一社)日本競輪選手会愛知支部
						カーフリーデー・モビリティウィーク(再掲)	都市交通を切り口とした都市環境の改善や賑わいのあるまちづくりを目的とし、自転車や公共交通、徒歩を用いたイベントを行うことによって、「かしこい車の使い方」を市民と行政と一緒に考える取組を行った。	イベントを通じて「かしこい車の使い方」を周知することができた。イベントでは競輪選手を招きサイクルタイムトライアルの実施や、自転車魅力発見トークショーなどを行い、自転車の利用促進をPRした。	豊橋市(都市交通課)